

# 高崎高校同窓会報

2015  
No.49

発行所／高崎高校同窓会 〒370-0861 高崎市八千代町2-4-1 TEL.027-320-6024

平成27年11月30日

## 時は流れても母校への想いは変わらずに



# テニス世界ランク4位は 錦織圭が初めてではないぞ!



全米テニス以後の大活躍で錦織圭が世界ランク第4位となり日本中が大いに沸いたが、実は1世紀近く前の1921(大正10)年に本校の卒業生清水善造(第7期)が、ロンドンで発行されていた当時もっとも権威ある「アイヤーズ・ローンテニス年鑑」の世界十傑で、第4位にランクされていたことを知っておりますか。

清水は群馬郡箕輪村(現・高崎市箕郷町)の出身で、高崎中学校から東京高等商業学校(現・一橋大学)へ進み、同校卒業後三井物産へ入社、カルカッタ支店勤務となった。清水はこの地でイギリス人との交流をを通じて硬式ボールによるローンテニスに出会い、めきめきと腕を上げて、1913(大正2)年カルカッタで行われたベンガル選手権で優勝以後、同選手権では連年勝ち続け、1920(大正9)年にはウィンブルドン(全英選手権)への出場が認められた。

ウィンブルドンではまず全英選手権保持者への挑戦権を争うトーナメント(オールカマーズ)が行われ、その勝者が時の全英チャンピオンに挑戦する仕組みになっていた。清水はその決勝戦まで進み、全米チャンピオンのチルデンと相見え4-6、4-6、11-13の0-3で敗れたが、第3セットは24ゲームを戦う大熱戦となり、清水の善戦をイギリスの観衆、メディアは大いに賞賛した。この試合中のワンプレーから後述する「やわらかなボール」のレジェンドが生まれた。この年の「アイヤーズ・ローンテニス年鑑」世界十傑で日本人として初めて第9位にランクされた。

翌1921年清水はウィンブルドン後デビスカップに出場、米国との決勝戦に臨んだ。ここで再びチルデンと対戦し、清水が2セットを連取し、第3セットも5-4とリードしあと1ゲームで全米・全英のチャンピオンをストレート

で破るところまで追い詰めたのだが、このゲームを5-7で落としてからの2セットを連取され、大魚を逸した。この年ランクは一挙に第4位まで上げた。

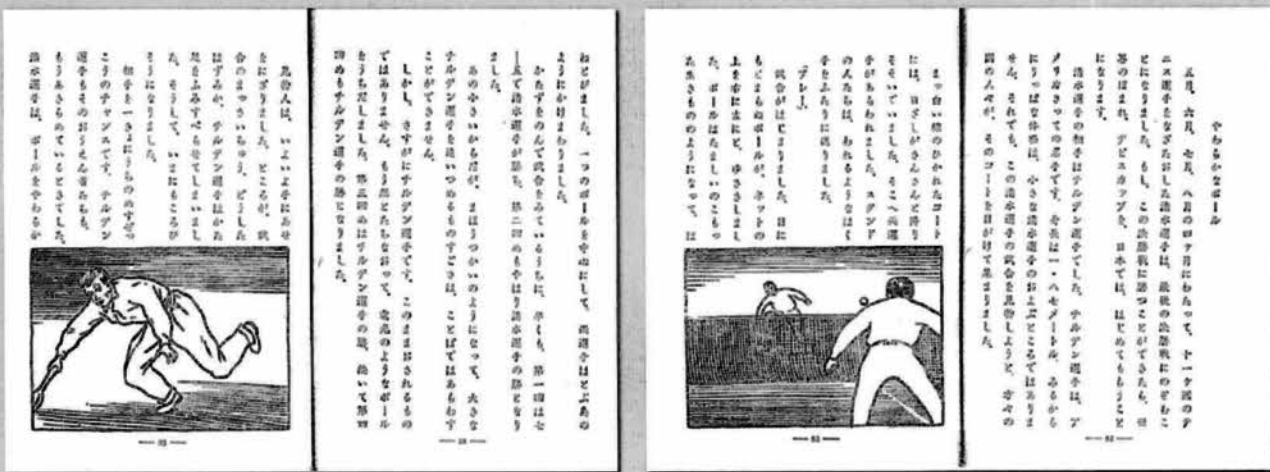
当時こうした大活躍は国内にほとんど報道されずあまり知られていなかったが、1933(昭和8)年以後中学校・女学校の教科書に“デビスカップ(ウィンブルドンとするものもあった)決勝戦で試合中足を滑らしたチルデンに、清水はその足元に柔らかい程よい球を送って立ち直らせた”とする美談が載り、スポーツマン精神、武士道を鼓吹する教材として利用された。ただこれらは女学校・中学校の一部の教科書であり、当時の上級学校進学率からみてそれほど広く伝わりはしなかった。

ところが、この話は戦後文部省が初めて編集した小学校の国語教科書に「やわらかなボール」としてに復活し、全国の小学生に知られ子ども達の脳裏にしっかりと焼き付けられた。しかし、これらの話はそれぞれ異なっており、正確な資料検証をしていないことが分かる。はっきりしていることは、件のプレーは1920年ウィンブルドンの対チルデン戦の第3セットでチルデン7-6清水で迎えた第14ゲーム中のプレーであり、清水が意図的に足を滑らせたチルデンのために、打ちやすいボールを送ってやれる状況ではなかったことを、上前淳一郎がその著で検証している。

試合中のワンプレーが美談を生み、レジェンドとなったのは、清水の穏やかで誠実な人柄にあった。彼は過去何度もその人柄を偲ばせるフェアプレーで観客を感動させており、誰も彼ならこういうこともあり得ると納得してしまっていたところにある。(文中敬称略)

右…昭和23年  
文部省発行の教科書  
挿し絵は  
「やわらかなボール」の  
清水-チルデン戦

\*参考文献  
上前淳一郎  
「やわらかなボール」  
(1982年・文藝春秋社/  
1986年・文春文庫)



# ご挨拶



高崎高等学校同窓会長(67期)

**串田 紀之**

平素より同窓会諸氏のご活躍と母校への多大なるご支援に敬意を表すと共に心より感謝申し上げます。

この第113回群馬県立高崎中学校、高崎高等学校同窓会総会が、平成27年1月24日午後3時から高崎ビューホテルで盛大に挙行されました。佐藤和徳前会長始め会員の皆様から推され会長に就任いたしました歴史と伝統ある高崎高等学校同窓会会長の重責は、私ごときが担えるものではありません。会員皆様のお力添えを賜り全う出来るものと思っておりますので、是非ともご協力を頂ければ幸甚に存じます。

さて、私は昭和24年戦後生まれで「団塊の世代」として一括りにされてきました。小中学校を卒業し高校進学を迎え高崎高校の帽子の二本の白線や朴歯の下駄に憧れ、受験の動機は不純なものでした。受験当日、私の中学からは十数名が先生に引率され校門へ、町中

の一・二中の受験生の多さに圧倒され驚いた記憶があります。しかし、どうか難関を通りぬけ合格しました。時は1964年東京オリンピックの年でした。入学式にはブラスバンドの部員が歓迎で東京オリンピックマーチの演奏を披露してくださいました。やはり中学と高校の差をみせつけられビックリした記憶が今も鮮明に焼きついています。入学から卒業の三年間で翠巒祭、マラソン大会、定期戦、関西への修学旅行など数多くの楽しい思い出をつくらせて頂きました。

あれから50年経ち、今各方面で活躍されておられる同窓諸兄にお会いする毎に、改めて高崎高校を卒業出来たことに感謝すると共に誇りに思います。

終に会員の皆様のご指導を賜ります様、心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。(くしだ のりゆき)

クシダ工業株式会社 代表取締役会長



高崎高等学校校長

**佐藤 功**

日頃より、母校高崎高校に絶大なるご支援とご指導を賜り感謝申し上げます。本校も明治30年の創立以来、118年の歴史を重ねてまいりました。諸先輩達によって築かれた高高的の文化を継承しつつ、今後、130年、150年と高崎高校が発展していくよう教職員一同努力しているところであります。

さて、昨年12月に中教審答申があり、その中で、学力の三要素として、①基礎的な知識及び技能、②①を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体的に学習に取り組む態度(主体性・多様性・協働性)を挙げています。

本校では、次世代のリーダー育成を目指して「翠巒プロジェクト」を本校の教育体系として推進しているところで

すが、この取組は中教審答申の内容を先取りしたものといえます。

また、同じ答申の中で、「学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(以下「アクティブ・ラーニング」という。)の充実」が述べられています。本校でも授業改善の一つとして、「アクティブ・ラーニング」について取組を始めたところです。

このような取組を通して、高いレベルでの「文武両道」を実践し、国際社会で活躍できる有為な人材を育成して参りたいと考えておりますので、引き続き変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます。(さとう こう)

潮流

ポハン  
韓国浦項製鉄所に  
はためいた二本の日の丸

百瀬 格

韓国神商(株)顧問 (56期)



一本目の日の丸の旗

何時から始まったのかは、覚えていないが(たぶん昭和45年くらいからではないかと思うが)日本は、隣国として韓国の経済発展を支援するために、両国の経済に関連する閣僚たちが東京とソウルで相互交流していた。

1972年(昭和47年)、この年はソウルで開催された中曽根康弘先生(先輩とした方がいいのかな?)が通産大臣として出席されていた。ソウルでの会議が終わった翌日の1972年9月7日、中曽根大臣は秘書と大使館の参事官数名で浦項にお見えになった。

翌年3月の最初の高炉(第一高炉)の火入れと製鉄所の操業開始を控え、全ての工場の建設現場が突貫工事に入っていた時期だった。当日の午後1時半近くだったと思うが、コークス工場の建設現場にいた私のところに、製鉄所の社長の呼び出しだと言って、車(車と言っても米軍払い下げの小型ジープ、但し建設現場の移動には最適であった)が迎えに来た。何処に行くのかと顔見知りの運転手に聞くと「迎賓館」と言われた。迎賓館は製鉄所から5キロ近く離れた製鉄所職員の住宅地区にあった。迎賓館に向かう時に製鉄所本館の前を通るのだが、本館前の国旗掲揚台に韓国の国旗の横に「日の丸」が晴れ上がった秋の空に翩翩と簸るがえっていた。

私は1971年11月から浦項に駐在していたが日本の国旗を目にしたのは初めてのことであった。何で「日の丸」の旗が掲げられていたのかは、迎賓館で中曽根大臣にお会いするまで判らなかつた。迎賓館にも中曽根大臣を迎える「日の丸」が掲げられていた。熱いものがこみ上げてきた。たかが「日の丸」と思われるかも知れないが、韓国での「日の丸」には勇気づけられるものがあった。

製鉄所建設の最終段階だったので200名を越える日本からの技術者たちが各設備の建設現場にいたが、製鉄所本館前に掲げられた「日の丸」に皆驚いていた。

昼食を終えて朴泰俊社長とご一緒に迎賓館の玄関に出てこられた中曽根大臣にご挨拶することが出来た。玄関前ではソウルからの同行記者たちの問いかけに対して中曽根大臣は「この製鉄所建設には輸出入銀行の資金も協調融資されており製鉄所の建設の進捗状況を担当大臣として見届ける

必要がある。幸い建設工事は朴泰俊社長の下で順調に進められており満足しております。」と言われた。

朴泰俊社長が、韓国国会での産業諮問委員会で、「先日日本国の中曽根通算大臣が我が製鉄所の建設現場を視察された。現在わが国が重化学工業政策推進の真っ只中にあるときに、我が国の長官や国会議員、政府高官たちが日本に行かれても製鉄所や石油コンビナートなどを見学されたとは一度も聞いたことがない。築地や赤坂だけが日本を勉強するところではない。」と言ったらしい。長官や国会議員たちからうさん臭そうに思われたらしいが、朴泰俊社長は当時の朴正熙大統領から絶大な信頼を受けていたので怖いもの知らずであった。

私の父は中曽根大臣に親交があったが、私が中曽根大臣にご挨拶出来たのは朴泰俊社長の温かい心遣いである。

朴泰俊社長は群馬にことのほか思い入れがあった。理由を聞いたところ、戦争末期に朴社長の従弟が東京から渋川中学に疎開をしていたので何度か渋川を訪ねたことがあり、群馬に親しみがあるとされた。少し横道に逸れるがこの従弟は、終戦で韓国に戻られたが朝鮮動乱で戦死されたそうである。遺品、遺骨も届かなかったとのことであった。

群馬に親しみを感じていた朴社長は、高崎高校の先輩を現場で私に紹介されたのだと思っている。どうでもいいことであるが、そんな心遣いをされた朴社長には感謝の言葉も見当たりません。



これは横道ではなく、所謂「エピソード」

中曽根大臣が帰られた翌日、総務担当の専務理事から「迎賓館」での昼食を招待された。この専務は元陸軍中尉で恰幅が良くそのうえハンサムであった。私とは独身寮での麻雀仲間である。なんで昼食に呼ばれたかと言うと中曽根大臣の昼食のメニューと同じものを出すので評価して欲しいと言うことであった。韓国の李王朝でもあとから毒見はなかつたらうと

大笑いをした。中曽根大臣がお代わりをしたメニューがあると専務が自慢そうに言うので何かと聞くと「松茸の塩焼き」だったそうである。

## 二本目の日の丸

1979年6月21日。

福田赳夫元総理が中川一郎議員や石原慎太郎議員など10名近い元気のいい国会議員を引き連れて浦項に来られた。迎賓館での昼食会には私も呼ばれた。高崎高校の先輩、後輩ということを知っての朴泰俊社長の気遣いであった。

食事がたけなわになったころ、日本の歌曲のバック・ミュージックが流れ出した。何曲か進んだあと、「夜霧よ今夜も有難う」が流れた。一同「オー」と言う声と拍手が一緒だった。福田元総理が石原議員に「これ君の弟だよ」と言われ、石原議員の少しはにかんだ顔を今でも思い出す。

この時も、製鉄所の本館前の国旗掲揚台に韓国の国旗と「日の丸」が掲げられた。勿論、迎賓館にも掲げられた。

私は1986年8月まで浦項に駐在したが、浦項の空にたなびいた日の丸はこの二本だけだった。

二本の「日の丸」が、高崎高校の先輩が韓国・浦項に来られた時のことであり、それが同じ高校の後輩の目の前で起こったことに何か不思議な縁と言うか繋がりを感ずる。



## 福田元総理の「エピソード」

1993年8月から11月まで韓国・忠清道 大田(テジュン)で万博が開催された。日にちまで覚えていないが、確か「ジャパン・デー」に福田元総理が来韓されホストを務められた。私は万博にも出かけてないしジャパン・デーも出かけてなかったが、ジャパン・デーの二・三日あとに福田元総理の秘書の方から国際電話があり、先生がお話したいことがあるので先生のところの電話をして欲しいとのこと(奥様が出かけておられて先生が国際電話を掛けられないので私から)である。そんなこともあるのかと思い、知らされた番号に掛けると「まったよ」と先生の声が聞こえた。要件をお尋ねすると万博のあとのソウルで金泳三大統領と面会の予定であったが風邪をひいてしまい大統領に風邪をうつしては失礼と思い面会をお断りして帰国したと言うことだった。

風邪は嘘で福田さんは金大統領とはウマが合わなかった。即ち嫌いだ。

朴泰俊社長も金大統領とはウマが合わなかった。金大統領に睨まれた朴社長は製鉄所を追われ2年ほど日本で生活された。

おそらく日本では製鉄所など見学されたことのない二人の

大先輩が、韓国の製鉄所に引き寄せられたのは、朴泰俊社長の人となりからである。

私も実の弟のように可愛がって頂いた。勿論辛いこともあった。担当していた発電所のコンクリート工事が不良工事ということで数百人の建設関係者の目の前で爆破されたこともあった。第一次石油ショックでホット・コイルが全然売れなかった時に、2万トンのホット・コイルを欧州に売り繋いだが一言も感謝の言葉もなかった。お互い我慢比べをやっているようだった。ただある時、製鉄所の幹部から朴社長が百瀬さんのことを、若いけど骨のある日本人に出会ったと言われてますよと聞かされたことがある。唯一の褒め言葉であり嬉しかった。

## ひとり言

ところで「気配り」が出来て「おもてなし」が出来て、言葉はちょっと乱暴だが、「手八丁、口八丁」の切れ者が世界中を飛び回って仕事を創り出して日の目を見ると、そこに定点観測の人間を配置してアフター・ケアにこれ努める。資源がない日本は、世界中の出来るだけ多くの人たちに手にとって貰えるものを開発しなければならない。私たちの時代はそんな繰り返しだったのではないかと考えている。

これからの時代はどうか。資源のない日本にあるものは、人材だけである。日本がこれから生き残るためには、狭い日本で競い合う「JIS規格の人材」を創るのではなく、世界に通用する人材を創り出すことを考えて見てはどうだろうか。

このような提案をすると、今までは外国語(特に英語)教育の強化で片付けてしまっていた。確かに、教育の現場では限られた教師陣で直ぐに取り掛かれる教科は英語しかない。非常勤講師による人材教育の教科などには受験校の宿命で時間がさけない筈である。

このままでは、今までと何ら変わりのない地方のちょっと名の知られた進学校で埋もれてしまう筈である。

選抜して海外留学も一法だが、これも莫大な費用の問題が生ずる。

福田さん、中曽根さんは日本のリーダーとして世界の指導者たちと堂々と渡り合って来られた先輩である。先輩に続けとはっぱを掛けると、戦前の教育方針となってしまう。

世界中から大勢の若者を迎え入れることを考えてみてはどうだろうか。

日本の学制だが、高校の3年間だけでなく、大学の4年間も加えた7年間の一貫教育を考えて見てはどうだろうか。

次世代の世界の若者との交流を図ることが、本当の日本を知ってもらうことになるし世界を知ることにもなる。全寮制も考えてみる価値があるのではないか。緑の多い観音山の麓に世界中の若者が集う。夢がありますね。

これから益々少子化が進む中で、こじんまりと纏まるのではなく逆に世界に門を拓けることで生き残りを図るべきではないか。地方の再生、活性化にも繋がるのではないか。みんなと一緒に考えてみて意見を出し合ったらどうだろうか。

寄稿



## 高崎高校同総会報第49号に寄せて

高々ラグビー部 主将 76期 根岸 赴夫

昭和51年4月高崎高校に入  
学した私は、多少の迷いはあ  
ったものの、ほとんどほかの部室を

訪問することなくラグビー部の門を叩いた。

私には3歳年上の兄がおり、その影響もあって中学時代から  
ラグビーには多少興味を抱いていた。部室へ行くと「根岸さん  
の弟かよく来たな!」と声をかけられ、その気になってしまった。

しかし、現実は大変厳しく、入部して3か月ほどは、自宅まで  
の帰り道、約10キロという道のりに体が悲鳴を上げていた。そ  
んな状況だったので、一緒に入部した数人の同期は半年もし  
ないうちに辞めて行った。

ただ救われたのは、その頃の高々ラグビー部は練習時間  
の短さでは定評があった。35分ハーフの試合、前後半で70分  
という時間を目いっぱい走ればいいのだから、練習もそれ以上  
長くする必要がない、という、今考えると屁理屈としか思えない  
ような不思議な伝統があったので、遅くまで練習をしている野  
球部などからは、ずいぶん羨ましがられた記憶がある。

そのような短い練習時間であるにも関わらず、県内ではほと

んど負けることがなかった。ただ悔しいのは部員数が少ない  
ので、どうしても3年生だけのチームを作ることができずに、経  
験の少ない1・2年生を試合に出さざるを得なかった。おのずと  
経験不足から実戦となるとチームは弱体化する。県内では負  
け知らずであるはずの高々ラグビーに何度か汚点を残した。  
負けた試合は思い出したくもないが、どうしても忘れられない  
のが、伊勢崎東との試合である。国体予選の準決勝、負ける  
はずのない相手だったが、わがチームは主力選手の怪我が  
たたって、敗北を喫してしまった。そのことが今でも記憶として  
蘇る。負けた記憶は一生残るのである。

今となってはいい思い出と言いたい所だが、あまり思い出  
たくない経験である。

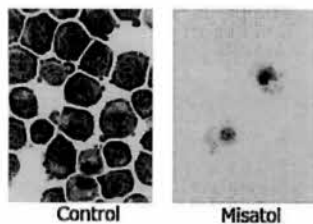
そんな私ですが、今は高崎市の市議会議員として、3期目  
を迎え、市民の皆様の負託に応えるべく、日夜邁進しております。  
また、社会人ラグビーチームの群馬惑惑倶楽部に所属  
し、練習はサボりがちなながらも、青春の日々を少しでも取り戻そ  
うと、日々奮闘しています。



## 目下七十七歳、今が一番…

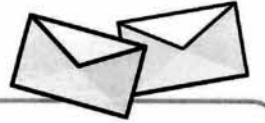
アダバイオ株式会社 代表取締役 56期

足立 正一



「苦しい」ではなくて「楽しい」です。その理由は、薬業界に  
入って新しい癌治療を求め半世紀、波乱の人生を過ごして  
来ました。開発コンセプトは二つです。①癌細胞にオタマジャ  
クシの尻尾の如く寿命死を起し消えてもらう(アポトーシス  
誘導)。②癌細胞に味方する自己の細胞群を排除する(リン  
パ球/顆粒球バランス)。この二つのコンセプトで失敗に屈  
せず奮闘、②に関しては「顆粒球吸着用アダカラム」として  
上市、しかし、①は不成功のまま退職を迎え幕がおりてしま  
いました。しばし休養、そんな矢先、箕郷町の梅農園主が来  
社、「町のピンチです。全国二位の生産量にも拘らず紀州ブ  
ランドに押されております。何か付加価値をつけて貰えない  
でしょうか。」「私に出来ることは癌細胞に対する影響を検討

する位です」早速、梅エキスを処理して癌細胞と免疫細胞  
に加えて観察。顕微鏡下に大ドラマ、夢に見たオタマジャク  
シの尻尾の実現、しかも裏切り軍団まで死滅です。早速老  
骨に鞭打って梅に特化した開発会社アダバイオを立ち上げ  
十年目を迎えております。目下梅サイエンスの第一弾として  
開発した「ミサトール」で癌と難治性脂肪肝にフォーカスして  
大手メーカーと共同開発が進行中です。認可を得て上市さ  
れると榛名山系の梅林に黄金の花が咲くのではと目下楽し  
みに皮算用です。この間長丁場の難問を同窓の生方将夫  
兄、乾純和兄、桜井弘兄、故小川清治兄の応援で乗り切る  
ことが出来ました。同窓あつての今、感謝しております。



## 投げやり音楽人生

元JR東日本・宇都宮駅長 日本バイオリン製作研究会会員 66期

菊地 國章

陸上競技は中学生から始め、デュアスロン参戦による中断を経て50歳で復帰、毎年15回程マスターズ大会に出て、「やり投げ」をはじめ投てき全種目で昔と同じようにもがいている。

音楽はどういうわけかクラシック、小学生の時中波2局のステレオ(立体)実験放送をポロラジオを2台並べて聴き、群響の移動音楽教室はとて待ち遠しかった。

中学生の時は、小遣いで買い始めたレコード(ドーナツ盤)を父の軍歌用のプレーヤーで聴き、高高で群響を聴いた時「オレもあそこでやれてえな」と漠然と思ったが、楽器もやっておらず、実現性のない無理なことだった。

一旦就職し進学。19歳でクラシックギターに熱中。24歳で

カザルスを聴きチェロを衝動買いし、平成3年JR東日本オーケストラ発足時に入団、以来約25年続いている。

バイオリン製作もすでに20年、自分が弾くチェロは当然自作だし、頼まれ製作も始めた。

全て素質なし、先生なし、下手くそなのに「投げやり」にならなかったのは、「好きなこと」はどんなことがあっても続けられたということか。

しかし、ここまで来て省みるに、趣味道楽も、「何」をどのようにして「好きなこと」にしたかが人生における重要なポイントになるのではないかと思いはじめた。

「Javelincello」は私の造語、今年からメールアドレスに使い始め、気に入っている。

### 同窓会だより

## 第114回高中高高新年総会・懇親会 心よりお待ちしております

85期代表幹事 ライズ総合保険・(株)富田総合保険プランナーズ代表取締役

富田 和弘



社会人1年目の24才になった年に初めて同窓会新年総会・懇親会に参加致しました。会場で周りを見渡しても同期はいない、顔を知っている先輩もいない、訳も分からずいる中で、応援部OBの先輩の指示に従い、羽織、袴に着替え、先輩方と一緒に壇上に上がり校歌、応援歌を斉唱しました。会場一体となつての雰囲気感動した事を今でもよく覚えております。

卒業して30年後の幹事期まで随分遠い先の事と思っておりましたが、あっという間に時が過ぎ、気付けば初め

て参加して以来25年一度も休むことなく幹事期を迎える事が出来ました。その間多くの先輩方に可愛がっていただき、毎年この新年総会に参加させていただく事に喜びを感じております。

「高崎高校同窓会新年総会・懇親会」という伝統ある行事を幹事として迎えるにあたり、85期一同「おもてなしの心」で皆様をお迎え致します。

ご参加をお待ちしております。よろしく願い申し上げます。

## 翠巒育英会より

平素は翠巒育英会に対しご指導、ご協力をいただきありがとうございます、深く感謝申し上げます。

本年は本育英会が発足してから30年が経過し、31年目に入りました。この間、124人の生徒諸君に奨学金の給付を行いその修学を後押しするとともに、全国大会出場の選手諸君にも激励金を贈りその活躍を応援してきました。この事業を順調に進めてこられたのは、同窓生諸氏の心温まるご支援、ご協力のお蔭と、深く感謝しております。発足以来の篤志寄付の件数は235件に及び、同窓生諸氏の後輩諸君にたいする愛情と期待の大きさがしのべられます。特に、低金利時代になり基金の運用益での運営が困難になってからは、この寄付金だけで運営資金をまかなっており、本当に有難く改めて心より感謝申し上げます。また、昨年度よりお願いをしているコンビニ振込による寄付金は、本年も好調で、1,565名の諸氏のご厚意が

1,565,000円に達しており、ご協力下さった皆様には有難く厚くお礼申し上げます。このように篤志、コンビニあわせての寄付金収入が増えており、本育英会の運営は従来に比べてある程度の余裕が生まれ、安堵しております。

本年度も主たる事業の奨学金の給付については、1年生より5名の諸君を採用し2、3年生の10名とあわせ15名に給付することでスタートしております。今後災害、家族関係の急変等により、新たな事態が発生した場合には適宜対応します。

こうした皆様のご厚意により上述したとおり運営費にもやや余裕が生まれましたので、来年度からは奨学資金給付事業の拡充を図りたいと思っております。皆様には今後も本育英会へのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成27年11月

公益財団法人 翠巒育英会 理事長 田端 穰

## 育んでくれた人

38期

重田 精一さん



会議等で学校へおいでになった折、私のところへ来て「田端さん、今日帰りがけにうちに寄ってくれますか」と、ソフトな物腰でおっしゃって、飄々とお帰りになる姿が忘れられません。言われたとおりご自宅を訪ねると、「短い足のおじさん」で「ごめんなさい」とおっしゃりながら笑って封筒を手渡してくれました。言わずと知れた翠巒育英会への寄付金です。時には、お部屋でご懇談下さりさまざまご教示をいただきました。特に先生の同期(38期)の三輪八郎<sup>2)</sup>さんのことについて、同時代に生きなければ分からない戦時下のプロ野球選手のことなど貴重なお話をお聞きしたことは、後日の「翠巒の群像-白球に賭けた青春」執筆に大いに役立ちました。こうしたおつきあいは私が高高在任中に連年続き、本育英会にとっても本当に有難かったし、私にとっても先生のお人柄に触れることが楽しみでした。

先生は、晩年になって高崎高校同窓会副会長、翠巒育英会理事長を歴任され、母校に発展に大いに寄与されましたが、壮年期には当時政官界を相手に一步も退かない戦いを率いた日本医師会武見太郎会長の下で、常任理事を通算12年も務められ会長を支え続けられました。この経歴からは想像ができない物腰の柔らかい、丁寧な言葉遣いでしたが、時折見せる眼光の鋭さが修羅場を踏まれた男を垣間見せてくれました。本当にかっこいいジェントルマンでした。

## 平成26年度「公益税団法人 翠巒育英会」決算書

(単位:円)

■収入	
正味財産(基金)運用益	12,255
寄付金	3,326,393
雑収入	1,150
合計	3,339,798
■支出	
事業費	
奨学金	1,680,000
学校教育補助	120,000
教育環境整備補助	383,130
委託料	100,000
通信運搬費	80,770
消耗品費	1,218
支払手数料	194,800
雑費	21,614
管理費	
通信運搬費	3,384
支払手数料	1,700
広告宣伝費	10,000
雑費	8,100
合計	2,604,716

3,339,798 - 2,604,716 = 735,082 (正味財産に繰入)

### ■正味財産(基金)

* 当期首残高	51,103,962
* 繰入金	735,082
* 当期末残高 (現在高)	51,839,044

(注)上記決算書は財団法人の決算書の様式とは異なりますが、皆様にわかりやすくするために、一般的な収支報告書の様式にまとめたものです。

- 1) アメリカの作家ジーン・ウェブスターの小説「あしながおじさん」で、孤児ジュディに奨学金を送る資産家を、彼女が「あしながおじさん」と呼んだことから、「あしながおじさん」は現代日本では広く学生への援助者の意味で用いられている。
- 2) 高崎中学校野球部のエース、阪神に入団。昭和15年巨人をノーヒットノーランに抑え、若林と並ぶ阪神のエースとして活躍した。



## 母校創立120周年事業について

来る平成29年は母校創立120周年(創立明治31年4月1日)となります。  
 母校及び同窓会・PTA・教育後援会と歩調を合わせ実行に向けた活動を開始致しました。  
 つきましては概要をご確認頂き、記念事業への募金活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

**1. 記念行事開催日**      平成29年5月20日(土)

### 2. 記念行事

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| (1) 記念式典  | 会場: 検討中             |
| (2) 記念講演会 | 講師: 検討中             |
| (3) 祝賀会   | 会場: 検討中             |
| (4) 記念誌発行 | 『目で見える高中・高高120年の歩み』 |
| (5) 記念事業  | 指月庭改修               |

### 3. 予算

総事業費 800万円

総務費	100万円
式典費	30万円
講演・祝賀会費	250万円
記念誌	220万円
記念事業費	200万円

資金調達

同窓会募金・準備金	500万円	※維持会費に1,000円、2年間上乘せさせて頂く
教育後援会準備金	300万円	

### 4. 記念事業の概要

校歌に「バラの香におう学舎にて友よ」と謳われておりますが、半世紀の変遷を経て現在はまばらなバラであり、校歌にそぐわなくなっております。井上房一郎翁往時の面影をよみがえらせるべく事業を進め、120周年に間に合わせたいと考えております。同窓会員の皆様におかれましては趣旨をご理解の上、ご厚志を賜りたく心よりお願い申し上げます。

又、維持・管理につきましても同窓会員有志のお力(ボランティア)をお願いしたいと考えております。母校にバラを一杯咲かせたい同窓会員で月1回でも手入れにご協力いただける方は同窓会事務局(027-320-6024)までご連絡下さい。



昭和39年卒業アルバムより



平成27年11月撮影

# 第63回 翠巒祭

テーマ: Piece Full



パンフレットデザイン

第63回翠巒祭のテーマは「Piece Full」でした。長年  
続き発展してきたこの翠巒祭を、さらによりよく、そして  
来場者の皆さまにより楽しんでもらうべく、高高生一人ひ  
とりが意識を高くもち、今年も無事成功を修めることがで  
きました。

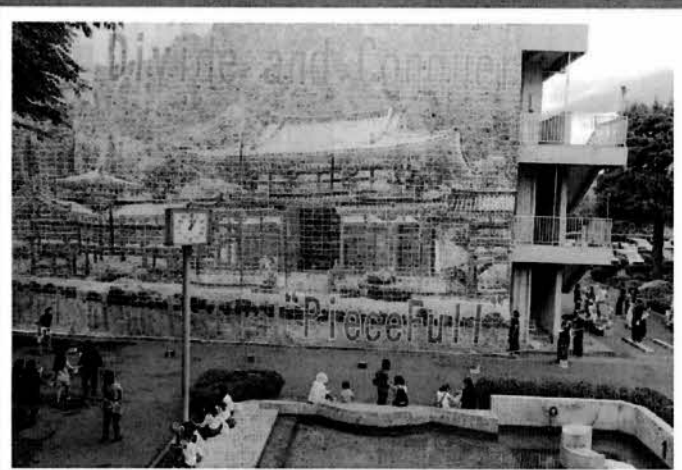
しかし、翠巒祭は来年も再来年もずっと続いていくもの  
です。今年も成功の裏にはたくさんの失敗がありました。  
その失敗を後輩達の手で成功へと変え、翠巒祭をより発  
展へと導いてほしいと考えます。

最後に、こうして第63回翠巒祭が無事成功に終わること  
ができたのも、実行委員を筆頭とする高高生全員の努  
力や協力、そして地域の皆さま、OBの皆さまの温かな支  
援、応援のおかげです。また、先生方にも忙しい合間に  
協力して頂きました。ここに感謝を申し上げますとともに、  
今後ともご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、引  
き続き温かいご支援をお願い申し上げます。

来年の翠巒祭の成功を祈念して筆を置かせて頂きます。

第63回翠巒祭実行委員長 3年 小島知也

## \\ Piece Fullな、2日間 //



# 第69回 定期戦



これまでの戦績は高高39勝、前高24勝、引き分け3、中止2です。

「『富士の白雪』を戦場に響かせる喜びを、今こそ前橋で—」

アウェイで負ける、という法則を打ち破り、数大会ぶりの連覇を目指し、下しつ下されつの接戦を繰り広げましたが、夢には数歩及びませんでした。自らの力不足を痛感しました。

負けてしまうとどうしても敗因に目が行きがちです。失敗から学ぶことも大切ですが、勝てた要因を深く追究することも、勝利のための鍵となるでしょう。今回私が感じたのは、全体で士気を高めることの難しさです。実行委員と全校生徒が一体となって同じ「勝利」という目標に向かっていく姿勢を貫くことが、定期戦におけるベストのカタチですが、今年はそれが至らなかったのではないかと思います。

伝統ある定期戦、第69回を作り上げることができたのは、チーフ陣、実行委員、全校生徒の皆さん、そして諸先生方のご協力があったことです。本当にありがとうございました。

来年度は、節目となる第70回大会です。記念すべきこの大会において我が高崎高校が優勝杯を取り戻し、今年度の雪辱を晴らしてくれることを願っています。

第69回定期戦実行委員長 3年 井田一道

## 第69回定期戦得点表

部対抗		種目	一般対抗	
高高	前高		高高	前高
/	/	水泳	3	6
		駅伝	0	9
		綱引き	6	3
		玉入れ	3	6
		ソフトボール	6	3
		長縄跳び	0	6
0	6	卓球	4	5
6	0	陸上競技	0	9
6	0	ソフトテニス	3	6
6	0	バレーボール	3	6
6	0	バスケットボール	6	3
0	6	空手道	/	/
6	0	柔道		
0	6	剣道		
0	6	弓道		
6	0	サッカー		
6	0	ラグビー		
6	0	硬式野球		
0	6	軟式野球		
0	6	テニス		
48	36	小計		
82	高高	総合	前高	98





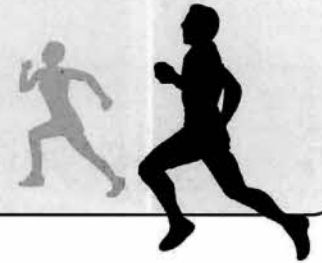
# 第67回 マラソン大会

平成27年11月17日(火)

曇空で例年より高い湿度の中、第67回高崎高校校内マラソン大会が11月17日(火)に学校周辺の方々のご理解とご協力で行われた。コース(9.1 km)の前半は長い上り坂が続き、白衣観音を過ぎると平らになる。そして洞窟観音方面に向かう辺りから急激な下り坂となる。清水寺の石段下から高高まではほぼ平らであるが精神的に一番辛いところである。優勝者のタイムは32分47秒。今年も全員が完走することができた。午後の表彰式は第一体育館で行われ、クラス表彰、個人表彰に加えて、各教科や生徒会からの特別賞の発表で盛り上がった。

## コース

**START** 護国神社前【10時】→  
 国立のぞみの園→白衣観音→洞窟観音入口→  
 高崎高校トラック内→ **GOAL**



銀杏並木でのラストスパート



護国神社前のスタートダッシュ

## 進路状況(全日制) ( )内は現役

大学	年次	27年	26年	25年	大学	年次	27年	26年	25年	大学	年次	27年	26年	25年
北海道大		10(6)	9(8)	8(5)	信州大		6(5)	4(2)	5(4)	中央大		55(47)	66(46)	58(53)
東北大		27(22)	30(25)	25(19)	名古屋大		3(3)	5(5)	1(1)	明治大		57(47)	84(64)	67(52)
筑波大		8(7)	5(4)	6(5)	京都大		2(0)	8(6)	4(3)	上智大		9(8)	20(10)	13(12)
群馬大		31(27)	27(20)	28(24)	大阪大		3(2)	2(2)	4(4)	立教大		8(6)	16(10)	22(13)
埼玉大		5(5)	6(5)	9(7)	高経大		15(12)	16(15)	14(14)	学習院大		7(4)	8(6)	9(7)
千葉大		5(3)	9(7)	13(12)	首都大東京		6(4)	7(5)	1(1)	青山学院大		15(10)	26(21)	16(13)
東京大		9(4)	10(6)	5(5)	国公立大 医学部医学科		4(4)	10(7)	12(11)	法政大		32(29)	48(39)	33(27)
東工大		1(0)	3(2)	6(3)	慶應大		21(11)	30(11)	30(25)	日本大		56(41)	75(58)	45(36)
一橋大		1(0)	4(3)	3(3)	早稲田大		46(23)	53(32)	36(30)	東京理科大		72(39)	102(77)	70(55)
横国大		4(4)	4(3)	3(3)						芝浦工業大		38(34)	71(58)	52(42)
新潟大		10(6)	11(8)	14(11)						同志社大		4(3)	5(3)	2(2)
金沢大		13(12)	13(13)	13(10)						立命館大		10(5)	18(9)	16(11)



母校だより

# 各部の活躍・活動

## 運動部の活動

### 駅伝競走部 2年 金子哲佳 関東大会連続出場

今年度も関東大会に出場することで、今年で16年連続出場となりました。このような素晴らしい伝統を築き上げてくることができたのも、津久井先生、新井先生をはじめ、OB、保護者、その他関わってくださったすべての方々のおかげであり、深く感謝申し上げます。

目標としていた「県大会4位」を見事達成することができたのは、やはり3年生の力が大きかったところがあります。3年生が引退したい今、私たち後輩はそんな先輩に少しでも追いつけるよう精一杯走り続けます。

これからも高崎高校駅伝部をよろしくお願ひします。



### 軟式野球部 2年 清水康佑 関東大会出場

6年ぶりに秋季関東高等学校軟式野球大会群馬県予選大会で優勝を果たし、関東大会に出場することができました。田島先生、沼野先生、下田先生のご指導の下、保護者をはじめ多くの方々に応援していただき、深く感謝しています。

昨夏の北関東大会、作新学院戦での惜敗を受けて「関東大会優勝」を目標にかかげて新チームが始動したものの、関東大会では初戦敗退という目標からは程遠い結果に終わってしまいました。

春・夏季大会では目標達成に向けて邁進していこうと思います。これからも高崎高校軟式野球部の応援よろしくお願ひします。



- ①関東大会
- ②インターハイ予選
- ③全国高校総体
- ④国体
- ⑤県新人大会
- ⑥その他の大会

### 硬式野球部

- 春季関東地区高校野球大会群馬県予選  
2回戦 高崎1 - 4伊勢崎工業
- 全国高等学校野球選手権群馬大会  
2回戦 高崎3 - 10前橋南
- 秋季西毛リーグ  
高崎6 - 0吉井  
高崎4 - 3明和県央

- 高崎9 - 3高崎東
- 高崎3 - 3高崎工業

- 決勝トーナメント  
高崎8 - 4高崎商業  
高崎8 - 1中央中等教育学校  
(優勝)
- 秋季関東高地区高校野球大会群馬県予選  
2回戦 高崎0 - 1伊勢崎工業  
(延長10回)

### ラグビー部

- ⑥群馬県選手権大会(全国大会県予選)  
ベスト4  
準々決勝 高崎43 - 14桐一  
準決勝 高崎9 - 28農大二高

### サッカー部

- ①1回戦 高崎5 - 0沼田  
2回戦 高崎4 - 0前橋東

- 3回戦 高崎5 - 1新島学園
- 4回戦 高崎1 - 2前橋商業
- ②2回戦 高崎5 - 0吉井  
3回戦 高崎5 - 5(PK3-5)前橋東
- ③高校サッカー選手権大会県予選ベスト16  
1回戦 高崎10 - 0農大二  
2回戦 高崎3 - 1市立前橋  
3回戦 高崎7 - 0渋川  
4回戦 高崎1 - 4前橋育英

### バレーボール部

- ②3回戦 高崎2 - 0伊商  
準々決勝 高崎0 - 2県央
- ④本校より選手1名(3年 山口拓海君)参加  
関東ブロック大会(埼玉県)  
群馬0 - 2東京  
群馬2 - 0神奈川  
群馬1 - 2埼玉
- ⑥西毛地区大会

準々決勝 高崎2 - 0 高商  
 準決勝 高崎0 - 2 県央  
 全日本バレーボール高等学校選手権大会  
 (春の高校バレー) 群馬県予選会  
 3回戦 高崎2 - 0 館林  
 準々決勝 高崎1 - 2 前商

**陸上競技部**

①②関東高校陸上競技大会(山梨)

兼インハイ予選

岡島秀樹(3年)100m	予	3位
高橋優作(2年)100m	予	4位
武士文哉(2年)800m	予	6位
猿谷 亮(2年)110mH	予	5位
茂原大悟(3年)3000mSC	予	6位
茂原大悟(3年)3000mSC	決	7位
4×100mR		
竹澤 陸(2年)1走	予	3位
高橋優作(2年)2走	予	
岡島大樹(3年)3走	予	
山中公道(3年)4走	予	
竹澤 陸(2年)1走	決	8位
高橋優作(2年)2走	決	
岡島大樹(3年)3走	決	
山中公道(3年)4走	決	
加藤晶充(3年)やり投	決	22位
金光雄紀(2年)やり投	決	13位

⑤高橋優作(2年)100m	決	5位
竹澤 陸(2年)100m	決	6位
竹澤 陸(2年)200m	決	5位
武士文哉(2年)800m	決	1位
黒柳宏暢(3年)1500m	決	6位
黒柳宏暢(3年)5000m	決	6位
金子哲佳(2年)5000m	決	8位
茂原大悟(3年)3000mSC	決	2位
矢野泰生(2年)5000mW	決	4位
内田朋秀(2年)5000mW	決	5位
4×100mR		
安達宗次郎(1年)1走	決	7位
高橋優作(2年)2走	決	
竹澤 陸(2年)3走	決	
多胡 俊(2年)4走	決	
橋本大輔(2年)三段跳	決	8位
加藤晶充(3年)やり投	決	1位
金光雄紀(2年)やり投	決	3位

・男子総合成績(一部校12校中)59点第5位

⑥県高校新人大会(前橋)

高橋優作(2年)100m	決	2位
竹澤 陸(2年)100m	決	4位
竹澤 陸(2年)200m	決	3位
西巻仁貴(1年)800m	決	6位
武士文哉(2年)1500m	決	2位
金子哲佳(2年)1500m	決	5位
金子哲佳(2年)5000m	決	6位
猿谷 亮(2年)110mH	決	6位

茂原将悟(1年)3000mSC	決	5位
4×100mR		
安達宗次郎(1年)1走	予	1位
高橋優作(1年)2走	予	
竹澤 陸(2年)3走	予	
上村赳之(1年)4走	予	
高橋優作(2年)1走	決	3位
今井 樹(1年)2走	決	
竹澤 陸(2年)3走	決	
吉井柊人(1年)4走	決	
金光雄紀(2年)やり投	決	1位

⑥関東高校選抜新人大会(前橋)

高橋優作(2年)100m	決	3位
竹澤 陸(2年)200m	予	
武士文哉(2年)1500m	予	6位
武士文哉(2年)1500m	決	8位
矢野泰生(2年)5000mW	決	21位
4×100mR		
高橋優作(2年)1走	予	5位
今井 樹(1年)2走	予	
竹澤 陸(2年)3走	予	
吉井柊人(1年)4走	予	
金光雄紀(2年)やり投	決	12位

⑥県高校駅伝

(伊勢崎市陸上競技場周回コース)  
 ・総合成績 第4位  
 ※16年連続関東高校駅伝出場権を獲得  
 茂原 大吾(3年)  
 戸塚 有雄(1年)  
 黒柳 宏暢(3年)  
 金子 哲佳(2年)  
 高橋 諒平(3年)  
 茂原 将悟(1年)  
 武士 文哉(2年)

**水泳部**

⑥関東予選

50m自由	増田 亮	7位
100m自由	増田 亮	7位
100m自由	須田大輝	8位
200m自由	中島悠太	8位
1500m自由	宮園泰成	7位
100m平泳ぎ	是永琢斗	1位
100m平泳ぎ	斉藤 匠	2位
200m平泳ぎ	斉藤 匠	2位
400mリレー		4位
800mリレー		5位
400mメドレーリレー		5位

以上、9種目関東大会出場

①100m平泳ぎ	是永琢斗基準タイム	突破によりインターハイ出場決定
②100m平泳ぎ	是永琢斗出場	
③ 50m自由	須田大輝	6位
100m自由	中島悠太	7位
100m自由	須田大輝	8位

200m自由	中島悠太	8位
400m自由	増田 亮	4位
100m平泳ぎ	是永琢斗	1位
100m平泳ぎ	斉藤 匠	3位
400mリレー		4位
400mメドレーリレー		7位
		総合5位

⑤ 50m自由	佐藤 優	6位
50m平泳ぎ	古川竣介	3位
100mバタフライ	佐藤 優	2位

**ソフトテニス部**

①個人戦	須田・森田ペア、小坂橋・金子	
ペア	ベスト16	
団体戦	3位	
②個人戦	須田・森田ペア	ベスト16
団体戦	3位	
⑤個人戦	佐藤・宮澤	ベスト32
団体戦	ベスト8	
⑥夏季大会		
シングルス	森田 寛	ベスト16
団体	ベスト16	

**卓球部**

②ベスト16	
⑤ベスト16	
⑥強化大会	
ベスト64	小林
ベスト64	原澤

**剣道部**

②団体戦	2回戦	高崎3 - 0 太田
	3回戦	高崎1 - 0 高崎商業
	4回戦	高崎0 - 3 前橋育英
		(ベスト8)
⑥学校対抗団体戦		
	2回戦	高崎3 - 2 高崎東
	3回戦	高崎4 - 1 前橋東
	4回戦	高崎1 - 1 農大ニ
		(ベスト8)

**柔道部**

②団体戦	1回戦	高崎5 - 0 伊工
	2回戦	高崎5 - 0 勢多農
		準々決勝 高崎0 - 3 前商
		(ベスト8)
個人戦	内山栄太郎	66kg級 ベスト8
	関谷太志	73kg級 ベスト8
	原 裕昭	90kg級 ベスト8

- ④個人戦 柴田佳宜 73kg級 3位  
関谷太志 73kg級 ベスト8
- ⑥群馬県ジュニア柔道選手権大会  
関谷太志 73kg級 4位
- ⑥少年柔道強化選手選考会  
内山栄太郎 73kg級 5位
- \*県強化選手 高橋俊圭 81kg級 2位
- \*県強化選手 小林 陸 81kg級 4位
- ⑥第24回一橋大学杯柔道大会  
予選リーグ 高崎4-1早稲田(東京)  
高崎5-0宇都宮(栃木)  
高崎4-1東邦(千葉)  
準決勝 高崎3-2川越(埼玉)  
決勝 高崎4-1浅野(神奈川)  
優勝(3連覇)
- ⑥新人大会I  
2回戦 高崎2-②樹徳

《相撲競技》

- ①団体戦 予選リーグ  
高崎1-4拓大紅陵(千葉)  
高崎1-4足立新田(東京)  
高崎0-5柏日体(千葉)  
予選敗退
- 個人戦 5名参加

弓道部

- ⑤団体準優勝  
高崎B(井上、鈴木、平澤、浅野)
- ⑥西毛地区大会  
団体優勝 高崎A(茂田、浅野、高田、高岡)  
個人優勝(高田)  
5位(茂田)
- ⑥東日本大会群馬県予選会  
団体8位(井上、鈴木、平澤、浅野)  
個人優勝(井上)

空手道部

- ②団体形 第5位(ベスト8)  
団体組手 初戦敗退  
個人形 初戦敗退  
個人組手 下田晃大 3回戦敗退  
松原圭太郎 3回戦敗退  
他2名 初戦敗退
- ⑤団体組手 高崎0-5前工  
個人形 1・2回戦敗退  
個人組手 根本文哉 3回戦敗退  
他2名 初戦敗退
- ⑥1・2年生大会  
個人形 根本文哉 ベスト16  
個人組手 初戦敗退

軟式野球部

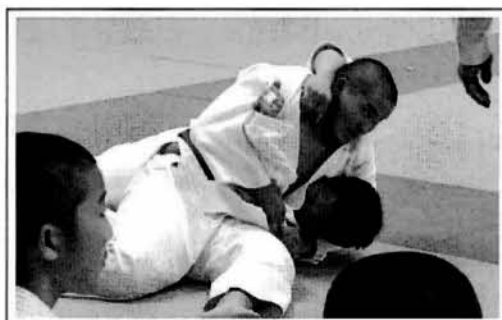
- ①全国選手権県予選  
1回戦 高崎12-0桐生工業  
(5回コールド)  
2回戦 高崎 5-1前橋商業  
代表決定戦 高崎 5-0前橋育英  
(群馬B代表 北関東地方大会初出場)
- ②全国選手権北関東地方大会  
(茨城・栃木・群馬より1校が全国選手権出場)  
1回戦 高崎 0-4作新学院(栃木)
- ④2回戦 高崎 1-0高崎商業  
準決勝 高崎 3×-2桐生  
(延長12回)  
決勝 高崎 2-1前橋  
(6年ぶり3度目の優勝 秋季関東大会  
群馬A代表出場)
- ⑤秋季関東高等学校軟式野球大会  
1回戦 高崎 1-2花咲徳栄・浦和  
ルーテル

テニス部

- ⑤団体(ベスト16)  
シングルス 谷屋滉大  
(ベスト32)

バドミントン部

- ②団体戦 1回戦 高崎3-0藤岡北  
2回戦 高崎0-3太田  
2回戦敗退
- ⑤県新人大会  
団体戦 1回戦 高崎3-1富岡  
2回戦 高崎0-3館林  
2回戦敗退
- ⑥その他大会  
高崎市高校生バドミントン大会  
(ダブルス)  
優勝 大山・野村  
準優勝 齋藤・矢島  
第三位 柴崎・永野



総体柔道

スキー・スケート部

- ①増村 太我 GS、SL 関東大会出場

バスケットボール部

- ②インターハイ予選  
2回戦 高崎101-33大間々  
3回戦 高崎 79-41健大高  
4回戦 高崎 90-52高商  
準々決勝 高崎 60-68育英  
(ベスト8)
- ⑥全国高等学校バスケットボール  
選抜優勝大会県予選会  
2回戦 高崎 90-65館林  
3回戦 高崎125-54桐南  
4回戦 高崎103-53前商  
準々決勝 高崎 75-48太田  
準決勝 高崎 82-74市太田  
決勝 高崎 54-93育英  
(結果:準優勝)
- 西毛地区高等学校新人バスケットボール  
大会  
1回戦 高崎133-48安総合  
2回戦 高崎 94-60高北  
準決勝 高崎 81-67高東  
決勝 高崎 69-72新島  
(結果:準優勝)

山岳部

- ①10/2~4 群馬県・武尊山出場
- ⑤11/7・8 県新人登山大会(大峰山)  
男子縦走 3位 阿部智己



総体バレー



総体空手

## 学芸部の活動

### 和太鼓部 部長 2年 関根佑梧

私たち和太鼓部は、男の中の男(=漢)を目指し、力強くダイナミックな演奏をお届けする、ということを中心に「漢組」と名乗っております。漢組は今年で11代目を迎えました。

漢組の主な活動は、地域のお祭りやイベントへの出演です。皆様の応援や笑顔を活かして日々活動しております。

11月に行われた群馬県高等学校総合文化祭郷土芸能専門部大会では2年連続となる最優秀賞を受賞し、来年の7月末に広島県で開催される第40回全国高等学校総合文化祭(2016ひろしま総文)への出場権を得ることができました。

これからも部員一同日々精進して参りますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



第21回群馬県高等学校総合文化祭郷土芸能専門部大会

### 囲碁部 部長 2年 鈴木祐真

囲碁部は現在総勢8名、主に放課後に部室にて活動しています。主な活動としてほぼ毎日のように対局をしたり、定石をみんなに教えたり、詰碁をといたりして、みんな自分のレベルを高めようと頑張っています。また、よりレベルを高めていくために、点数制のリーグ戦をやりたいと考えています。

先日行われた関東地区高校囲碁選手権県予選会では個人戦で1・2・4位、団体戦で1位という成績を修めたので、1月の群馬県で行われる関東大会に個人戦3名、団体戦3名ののべ6名参加することが決まりました。

どの大会に出たとしても常に全力を出せるように日々の練習を怠らないように頑張りたいと思っています。



全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)団体戦

### 物理部

- ロボカップジュニアジャパンオープン2015  
尼崎大会出場(平成27年3月27日実施)

### 文藝部

- 第10回群馬県高校生文学賞(散文部門)  
優良賞 常見哲大(2年)

### 美術部

- 平成27年度第39回高等学校芸術祭美術・  
工芸部門展 出品

### 吹奏楽部

- 11月/西部地区アンサンブルコンテスト  
打楽器三重奏 金賞(地区代表)  
サクソフォン四重奏 金賞(地区代表次点)  
クラリネット四重奏 金賞  
管楽三重奏 銀賞
- 12月/県アンサンブルコンテスト  
打楽器三重奏 銀賞
- 3月/第56回定期演奏会

- 5月/西部地区ソロコンテスト  
平田 智凜(フルート)金賞(地区代表辞退)  
堀川 隼人(パーカッション)金賞  
(地区代表辞退)  
前田 知樹(ホルン)銀賞
- 8月/県吹奏楽コンクール  
高校A組 銀賞

### マンドリン部

- 7月/高崎高校マンドリン部第48回定期  
演奏会
- 9月/第11回群馬学生ギター・マンドリン  
フェスティバル参加
- 12月/第18回クリスマスコンサート
- 2月/第46回群馬県高等学校ギター・  
マンドリンコンクール

### 合唱部

- 《26年度》
- 1月/第8回群馬県声楽アンサンブル  
コンテスト 銅賞

### 《27年度》

- 5月/高崎高校合唱部定期演奏会
- 7月/第39回全国高等学校総合文化祭  
合唱部門(群馬県合同合唱団として参加)
- 8月/平成27年度NHK全国学校音楽  
コンクール群馬県コンクール 銅賞
- 11月/第21回群馬県高等学校総合文化祭  
総合開会式アトラクションに参加
- 11月/第21回群馬県高等学校総合文化祭  
合唱・器楽管弦楽2専門部大会に参加
- 12月/第18回クリスマスコンサート
- 1月/第9回群馬県声楽アンサンブル  
コンテスト

### 和太鼓部

- 4月/高崎高校和太鼓部第7回定期演奏会
- 7月/第9回群馬県高校生郷土芸能発表会  
参加
- 7月/第39回全国高等学校総合文化祭  
(2015滋賀びわ湖総文)郷土芸能部門  
参加
- 9月/第70回国民体育大会本大会群馬県  
選手団結団式 激励演奏



- 10月/第21回群馬県高等学校総合文化祭  
総合開会式アトラクション 参加
- 11月/第21回群馬県高等学校総合文化祭  
郷土芸能専門部大会 最優秀賞
- 12月/第18回クリスマスコンサート
- 3月/高崎高校和太鼓部第8回定期演奏会  
その他、地域の祭りやイベントに多数参加した。

### 演劇部

- 9月19日・20日 平成27年度群馬県高校  
芸術祭演劇部門西毛地区大会  
常見哲大/作『ヌクリアーハンター』  
特別賞受賞
- 平成28年度5月1日 第18回安中西毛地区  
演劇祭参加予定

### 囲碁部

- 第39回全国高校囲碁選手権大会群馬県大会  
団体戦 優勝(団体Aチーム)、  
準優勝(団体Bチーム)  
個人戦 優勝(石井)、準優勝(中島)、  
3位(萩尾)、4位(鈴木)
- 第39回全国高校囲碁選手権大会  
団体戦 出場(石井、鈴木、中島)  
個人戦 出場(石井、萩尾)
- 第39回全国高等学校総合文化祭  
(滋賀大会)囲碁部門  
団体戦 出場(鈴木)  
個人戦 出場(中島)
- 第31回関東地区高校囲碁選手権大会  
群馬県予選会  
団体戦 優勝(関東大会出場)  
個人戦 優勝(石井)、準優勝(鈴木)  
4位(中島)(関東大会出場)

### 将棋部

- 5月/第42回群馬県高等学校将棋選手権  
大会  
2回戦敗退
- 6月/第1回将棋棋力認定大会  
2回戦敗退
- 9月/第26回関東地区高等学校文化連盟  
将棋大会 群馬県予選  
Aクラス新井、沢田 2回戦敗退、  
Bクラス折茂 3回戦敗退、林 初戦敗退
- 11月/第21回群馬県高等学校将棋新人大会
- 2月/第2回将棋棋力認定大会

### 鉄道研究部

- 4~5月/2015年八高線写真展示列車 参加
- 8月/鉄道模型コンテスト2015  
第7回全国高等学校鉄道模型コンテスト  
モジュール部門 審査員特別賞
- 9月/創立40周年記念列車運行
- 10月/2015秋の上州どっと楽市(第19回)  
参加
- 11月/第21回県高等学校総合文化祭 参加
- 11月/創立120周年記念上信電鉄感謝  
フェア2015参加

### 新聞部

- 第19回全国高校新聞年間紙面審査賞  
優良賞
- 第29回県高校新聞コンクール知事賞  
(5年連続)
- 県高校総合文化祭特報新聞  
「上州若人」取材参加
- 「高崎高校新聞」・「高崎高校新聞翠巒  
MiniPress」発行
- 定期戦速報「高高前高合同新聞」発行  
(県立前橋高校新聞委員会と合同製作)
- 第39回全国高校総合文化祭滋賀大会参加

### 放送メディア部

- 群馬県高等学校体育連盟研究部による  
小学生の保護者へ「子供のスポーツ活動  
のよさ」をPRする  
作品映像部門 最優秀賞を受賞

### 写真部

- 4月/春の合同撮影会参加
- 11月/第32回群馬県高校写真展出品  
3年 西峯隆悟 「私は「わたし」」

### 地学部

- 流星観測に眼視観測に加え電波観測を  
本格的に開始
- 夏季休業中に八丈島巡検を実施
- 県理科研究発表会では、ペルセウス座流  
星群観測・地層の剥ぎ取り方法・河川の蛇  
行の流水実験・八丈島巡検報告の4テー  
マで発表

### 化学部

- 継続していろいろな実験を行っており、  
本年度は群馬県理科研究発表会(高文連  
自然科学部門の群馬県予選を兼ねる。)で  
発表した。
- 科学の甲子園への全国大会出場に向け、  
学習面・実験面での準備を進めている。

### 鎌倉女子大学主催 第4回 お弁当甲子園 「お父さんへ スタミナ弁当」

学校賞



1年 黒澤 友暉

【コンセプト】

毎日、私たち家族のために仕事を頑張ってくれる父へお弁当を作りました。仕事が忙しいと聞いていたため、仕事の合間で簡単に、かつ、手軽に食べられて、お腹に溜まるお弁当を考えました。主菜は、肉ばかりで野菜類がなく、色どりも悪いため、パセリを入れて、色どりを良くしました。カロリーが少し高めであり、かたよってしまったところは力不足ではありましたが、短時間で栄養を取るのには適していると思います。さらに、もう一つ工夫したのは、お弁当のまわりをラップで包んだところです。仕事終わりの疲れた父もラップを取るだけで、簡単に片付けができて、楽だと思っています。



講演会

# グローバル化の進展と地方創生

高崎経済大学理事長 61期 高木 賢

平成27年6月17日、「CSS」活動の一環として、本校OBで現高崎経済大学理事長の高木 賢氏(61期)による講演会「題・グローバル化の進展と地方創生」が行われた。

本校では、平成24年度入学生より、次世代のリーダーを育成するための教育活動として「翠巒プロジェクト」を始めた。“高いレベルの文武両道”“主体的な学校行事(翠巒祭・定期戦など)”“知性を磨くCSSプログラム”の三本の軸から成る。この中の「CSS」とは、Career(進路学習)・Search(探求活動)・Science(サイエンス)の頭文字を取ったものであり、主な活動として、社会人講師授業や論文作成(1年次)、企業研究所訪問研修(2年次)、スペシャルサイエンス(文部科学省スーパーサイエンスハイスクールを継承発展)、ヒューマンサイエンス(人文・社会科学分野の分野別講座等開講)などがある。

グローバル化という急激な流れと地域社会の崩壊という現実と直面している現代社会の中で、大学がなすべきこと、若者が学ぶべきことを考えるとともに、地域社会に眠っている価値あるものを掘り起こして生かしていくことの意義を語られ、高高生も積極的に質問する講演会となった。



## ◆同窓会新役員紹介

名誉顧問	中曽根康弘	(42期)			
顧問	横田 英一	(50期)	本部幹事長	立見 友孝	(63期)
同	原 浩一郎	(56期)	本部幹事	仙田 健一	(67期)
同	佐藤 和徳	(57期)	同	梅沢 寛	(68期)
会長	串田 紀之	(67期)	同	佐藤 修	(70期)
副会長	阿久澤 茂	(69期)	同	中村 康晴	(73期)
同	坂本 正樹	(71期)	同	秋山 賢治	(74期)
同	清水 正郎	(75期)	同	橋爪 良真	(75期)
同	波瀾 憲昭	(81期)	同	高橋 浩生	(78期)
同	山本 忠順	(62期)	同	熊井戸浩一	(78期)
	(東京同窓会長)		同	藤田 実	(79期)
監査	松岡 光弘	(77期)	同	竹中 隆	(79期)
同	小坂橋敬之	(81期)	同	花井 好機	(82期)

## ◆同窓会本部より、お知らせとお願い

### 1. 同窓会会員名簿発行のお知らせ

平成29年1月発行に向けて「(株)サラト」より案内通知が送られます。同社は過去5回発行の実績があり信頼しておりますのでご安心ください。また住所不明の会員情報も提供をお願い致します。頒布価格は前回と変わらず4,300円(消費税込み)、サイズはA4となります。

### 2. 指月庭のバラを年間維持管理するボランティアを募集致します

詳しくは同窓会事務局(027-320-6024)までご連絡頂きたいと思っております。現役生徒達と手分けになるかと思っております。

### 3. 若い卒業期でまだ代表幹事、常任理事、理事等の役員未決定期に補助金

役員未決定、或いは同窓会未開催等で困っている期には初回案内通知にかかる費用(5万円前後)を同窓会にて支援致します。対象の期は事務局にご連絡ください。

### 4. 「高崎高等学校同窓会」のホームページには多くの情報を掲載しております

部活動のHPや記念誌等も申出頂ければ同窓会にて費用負担し、掲載致します。

### 5. 企業の協賛会員も継続募集しております

企業PR及びリクルート活動にも活かします。事務局までご連絡お待ちしております。

## 副会長挨拶



この度、副会長を拝命いたしました、69期卒業、サッカー部OBの阿久澤と申します。お世話になった母校や同窓の皆様に対して少しでも恩返しができるかと考え、我が身の程を省みずお引き受けした次第です。

来年の5月に高々は創立120周年を迎えますが、学校、教育後援会と協力して関連諸行事が滞りなく挙行できるよう、串田会長のもと事前の準備を進めていきたいと考えています。また生意気な言い方で恐縮ですが、私よりも若い副会長さんが多いので、さらに素晴らしい同窓会を目指して彼らが伸び伸びと、持てる力を十分発揮して貰えるよう努める所存です。関係の皆様にはどうかご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

阿久澤電機(株)代表取締役 69期 サッカー部 阿久澤 茂



副会長に選任された坂本正樹です。71期で、弁護士です。陸上競技部でした。趣味はヒルクライム(自転車)で、平日でも週2日位は朝練をしています。

全体同窓会では、20年以上前から本部幹事でした。選任された経緯は大学のOB会で懇意にさせていただいていた田端穰先生が本部幹事長、故植原政明先生が校内幹事だったからでした。当時その様な人付き合いの中で選任されたのですが、今回副会長に選任されたのも、串田会長とは以前から懇意にさせていただいていたからだと思います。

同窓会は人の交流により成り立っているものなので、今後も同窓生の皆様によりよい交流が出来る場を提供し、さらには母校の助けになるように、微力ながら串田会長の一助になればと思います。よろしく申し上げます。

弁護士 71期 陸上競技部 坂本 正樹



先の総会にて同窓会副会長に任じられました75期野球部の清水でございます。

歴代副会長の先輩方には遠く及ばない非才な身ではありますが、母校、同窓会の為に精一杯申田会長を支える所存でございます。

2012年の選抜大会において、甲子園アルプススタンドを埋め尽くした同窓生の熱気、地鳴りの様な応援。現地スタッフとして赴いていた私共野球部OBは、高々同窓会の堅い絆を再認識すると同時に、その強い結びつきに感動を覚えました。この度その同窓会の為に働かせて戴ける事をこの上ない喜びとし、任務を全うできますよう頑張っていきたいと思っております。

同窓生皆様の更なる御指導、御協力を宜しくお願い申し上げます。

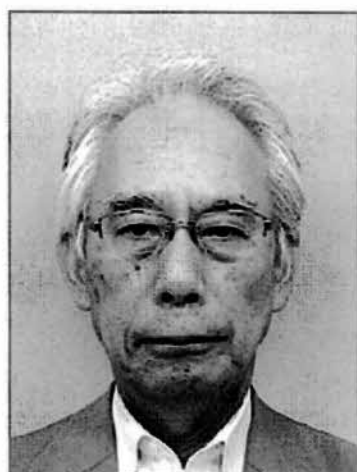
株式会社研屋 専務取締役 75期 硬式野球部 清水 正郎



副会長を仰せ付かっております波瀲憲昭です。宜しくお願い申し上げます。

高崎高校同窓会副会長という大役は、52歳の若輩には余りにも重く、大変恐縮に存じております。昨年度高崎高校PTA会長の職にありましたが、卒業に際し申田会長から「母校への貢献がまだまだ足りぬ」とのご叱責があり、新たな役を命じられました。役職に相応しい働きは到底出来ませんが、同窓会の繁栄、現役生への応援、そして母校の発展の為に、力を尽くして務めてまいる所存ですので、皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。

上越鋼業株式会社 代表取締役 81期 バレー部 波瀲 憲昭



高崎高校東京同窓会の会長2年目で、この度、本部同窓会の副会長を仰せつかりました。

東京同窓会の代表的な活動としては、年1回の同窓会誌「翠巒」の発行があげられます。

今年も61号を、予定通りに発刊致しました。会員の活躍の様子を投稿で、盛り上がった内容となりました。この「翠巒」の編集会議が、東京同窓会の役員会を兼ねたもので、定期的実施してきております。今年には北陸新幹線が開通したことに合わせ、金沢で編集会議を行いました。

今後、当会独自の活動を大切にしながら、本部同窓会とのより一層の連携を、追求して参りたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

高崎高校東京同窓会 会長 62期 山本 忠順

## 第22回高崎高校同窓会ゴルフ大会結果報告

- 開催日 2015年5月24日(日)
- 開催場所 サンコー72カントリークラブ
- 参加人数 208名
- 当番幹事期 78期

●**団体戦**(各期上位4名のトータルスコア)

《グロスの部》

順位	期	GROSS
優勝	81期	319.0
準優勝	79期	325.0
3位	75期	331.0

《ネットの部》

順位	期	GROSS	HDCP	NET
優勝	69期	337.0	51.6	285.4
準優勝	89期	342.0	55.2	286.8
3位	79期	336.0	44.4	291.6

●**個人戦** 《グロスの部優勝》

順位	氏名	期	GROSS
赤城・榛名	森 和弘	74期	80.0
榛名・妙義	北村 博一	81期	74.0
妙義・赤城	原田 和之	73期	79.0

《ネットの部》

順位	氏名	期	GROSS	HDCP	NET
優勝	木内 寛樹	85期	88.0	19.2	68.8
準優勝	大竹 雄二	69期	81.0	12.0	69.0
3位	佐藤 剛	89期	84.0	14.4	69.6



当日は天候にも恵まれ、皆様方のご協力により無事大会を開くことができました。心より感謝申し上げます。  
78期ゴルフ代表幹事 熊井戸 浩一

### 人事異動

(平成27年度)

《退任者・転出者》

事務長	青木 勝	退職
数学	内山 一之	退職
理科	吉野 信幸	退職
理科助	松島 孝子	退職
副校長	市川 敏美	前市高(校長)
教頭	森泉 孝行	副校長
国語	坂本 直之	太高
社会	澤田 徳彦	孺恋高(教頭)
理科	前田 敏明	沼高
体育	田島 正徳	富高
英語	下田 信康	桐高
事務	柏川 知也	県教委福利課

《新任者》

副校長	(森泉 孝行)	(昇任)
教頭	梅澤 英明	玉村
事務長	藤井 通義	前工
国語	竹内 聡	高女
社会	山田 敏行	前高養
数学	阿部 一輝	高商
理科	川田 智広	桐高
理科	工藤 洋平	伊高
体育	新井 康司	県教委健康体育課
英語	林 孝彦	中央中等
理科助	山寺 玲子	榛名
事務	井田 勝也	県教委福利課

通信制

《退任者・転出者》

理科	牧野 誠司	退職
事務	茂木 悦子	退職

《新任者》

理科	小和瀬 尊信	前高養
事務	矢畑 慶子	高東

## 平成二十七年 褒章・叙勲受章者 (敬称略)

### 春の叙勲

旭日双光章 佐藤 和徳(57期) 瑞宝小綬章 林 弘二(60期)  
 瑞宝小綬章 芥川 龍雄(58期) 瑞宝中綬章 田口 弘明(62期)  
 瑞宝小綬章 半田 博保(59期) 瑞宝小綬章 堀越 孝良(62期)

文部科学大臣表彰 佐藤 功(現校長)

### 秋の叙勲

瑞宝双光章 安中 誠一(45期4年制)  
 旭日双光章 櫻井 弘(56期)  
 瑞宝中綬章 山岸 俊之(57期)  
 旭日小綬章 宮前 有光(63期)  
 瑞宝単光章 矢嶋 愷(62期)



#### ◆翠巒文庫について◆

翠巒文庫は、著者または訳者が高崎高校の卒業生及び関係職員であり、本人またはその関係者から寄贈された図書で構成されています。

〈平成26年10月1日～平成27年9月30日〉

#### ●著書／作者

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| ●シュタイナー学校の英語の時間          | ロイ・ウィルキンソン著 飯野一彦訳(74期)        |
| ●あなたが33歳を過ぎて妊娠できない44の理由  | 桜井 明弘(87期)                    |
| ●生命の強化書                  | 須藤 宜(49期)                     |
| ●9歳で突然父を亡くし新聞配達少年から文科大臣に | 下村 博文(72期)                    |
| ●下村博文の教育立国論              | 下村 博文(72期)                    |
| ●句集 櫛の森                  | 水村 幸雄(49期)                    |
| ●解決！センター化学基礎             | 金井 明(68期)                     |
| ●なぜ、いま東アジア共同体なのか         | 中島 政希(71期) 鳩山友紀夫 進藤 栄一 高野孟島袋純 |
| ●筑紫君磐井と「磐井の乱」            | 柳澤 一男(64期)                    |

## 第114回 高中・高高同窓会新年総会のご案内

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新春恒例の同窓会総会・懇親会は85期が当番として幹事を務めさせていただきます。

諸先輩方、後輩諸氏多くの同窓の皆様方をお迎えし、総会では本会および母校の状況をご確認いただき、懇親会では在学当時を思い起こして共に楽しいひとときをお過ごしいただける様、準備を進めております。

同級生、先輩後輩皆様お誘いの上、一人でも多くの同窓の皆様がご参加下さいます事、当番幹事一同心よりお待ち申し上げます。

【日時】平成28年1月23日(土)午後3時より 【会場】高崎ビューホテル(高崎市柳川町70 電話:027-322-1360)  
 【会費】お一人様 5,000円(当番幹事 85期代表 富田和弘)

## 【同窓会報訂正とお詫び】

時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、今般発行いたしました同窓会報49号につきまして、私共の確認不足により、誤植等がありましたこと、心よりお詫び申し上げます。  
つきましては、下記のとおり正誤表を作成いたしましたので、ご査収いただきますよう、お願い申し上げます。

- 4ページ 潮流の本文右側4行目 中曽根通算大臣とありますが正しくは中曽根通産大臣となります。  
9ページ 本文中1行目 母校創立120周年(創立明治31年4月1日)とありますが、正しくは(創立明治30年4月1日)となります。  
18ページ 同窓会名誉顧問の中曽根康弘氏(42期)とありますが、正しくは(35期)となります。  
23ページ 高高同窓会 予算決算報告は下記のとおりとなります。

### 平成26年度 通常会計決算 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

#### 収入の部

費目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	13,086	13,086	0	前年度から繰越金
入会金	3,168,000	3,253,800	85,800	全日制322名(@9900) 通信制33名(@2000)
維持会費	7,000,000	8,167,000	1,167,000	3004名
利息	914	1,001	87	
雑収入	50,000	661,892	611,892	Webサイト協賛金定期解約繰入ほか
合計	10,232,000	12,096,779	1,864,779	

#### 支出の部

費目	予算額	決算額	残額	備考
会議費	1,000,000	926,658	73,342	新年総会準備ほか
祝賀費	850,000	960,287	△110,287	叙勲記念品・卒業記念品ほか
饗別費	250,000	130,000	120,000	平成25年度末離任職員饗別
慶弔費	100,000	47,520	52,480	
通信印刷費	420,000	480,374	△60,374	維持会費督促・納入礼状・翠巒会館電話代ほか
旅費	100,000	100,000	0	東京同窓会出席者旅費
会報発送費	1,550,000	1,548,000	2,000	
同窓会報費	2,150,000	2,442,063	△292,063	
事務費	1,500,000	1,247,299	252,701	事務職員人件費・事務用品ほか
同窓会長賞費	100,000	95,608	4,392	賞状・記念品ほか
補助費	1,600,000	2,149,802	△549,802	翠巒体育会・生徒活動補助
環境整備費	220,500	226,800	△6,300	指月庭およびバラ園の維持管理費
雑費	350,000	367,525	△17,525	維持会費等の振込手数料ほか
特別会計積立	0	1,000,000	△1,000,000	
予備費	41,500	0	41,500	
合計	10,232,000	11,721,936	△1,489,936	

収入総額(円) - 支出総額(円) = 差引繰越残額(円)  
12,096,779 - 11,721,936 = 374,843

#### 特別会計積立

収入の部	前年度からの繰越金	15,262,133円
	平成26年度通常会計より	1,000,000円
	利息	3,051円
	合計(A)	16,265,184円
支出の部	資料整理費	1,054,830円
	Webページ制作費	426,000円
	テニスコート整備費	1,680,000円
	(通常会計へ繰入)	347,192円
	合計(B)	3,508,022円
当年度差引残額(A)-(B)		12,757,162円

### 平成27年度 通常会計予算 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

#### 収入の部

費目	今年度予算	前年度予算	増△減	備考
繰越金	374,843	13,086	361,757	前年度から繰越金
入会金	3,168,000	3,168,000	0	全日制入学生320名(@9900)
維持会費	8,000,000	7,000,000	1,000,000	
利息	957	914	43	
雑収入	300,000	50,000	250,000	Webサイト協賛金・記念品収入
合計	11,843,800	10,232,000	1,611,800	

#### 支出の部

費目	今年度予算	前年度予算	増△減	備考
会議費	950,000	1,000,000	△50,000	新年総会準備ほか
祝賀費	900,000	850,000	50,000	叙勲記念品・卒業記念品ほか
饗別費	200,000	250,000	△50,000	平成26年度末離任職員饗別
慶弔費	100,000	100,000	0	
通信印刷費	480,000	420,000	60,000	維持会費督促・納入礼状・翠巒会館電話代ほか
旅費	120,000	100,000	20,000	東京同窓会出席者旅費
同窓会報費	3,850,000	3,700,000	150,000	同窓会報発行費および発送費
事務費	1,400,000	1,500,000	△100,000	事務職員人件費・事務用品ほか
同窓会長賞費	100,000	100,000	0	賞状・記念品ほか
資料整理費	1,200,000	0	1,200,000	Webサイト管理費ほか
補助費	1,600,000	1,600,000	0	翠巒体育会・生徒活動補助
環境整備費	226,800	220,500	6,300	指月庭およびバラ園の維持管理費
雑費	400,000	350,000	50,000	維持会費等の振込手数料ほか
特別会計積立	0	0	0	
予備費	317,000	41,500	275,500	
合計	11,843,800	10,232,000	1,611,800	

#### 特別会計積立

収入の部	前年度からの繰越金	12,757,162円
	平成27年度通常会計より	0円
	利息	2,838円
	合計	12,760,000円
支出の部		0円
差引繰越高繰越金		12,760,000円